

## 長崎商工会議所経営発達支援事業 次年度（令和3年度）以降における改善点

令和2年度経営発達支援事業の実施状況及び計画に掲げている数値目標の達成度等の成果についての評価を踏まえ、次年度（令和3年度）は、次の改善・見直しを行なう。

### 1. 小規模事業者支援実績管理システムの導入

現在本所において使用している事業者管理基幹システムのバージョンアップ版を導入することにより、支援事業者ごとの支援実績管理の効率化を図り、伴走型支援の生産性向上に努める。経済産業省の「ローカルベンチマーク」等の経営分析ツールをより積極的に活用することで、支援の質の向上に努める。

### 2. コロナ禍における支援のあり方の検討および実施

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、予定していた商談会や展示即売会などを開催することができなかったため、形を変えて行うこととなった。令和3年度においても、収束までにはかなりの時間を要すると思われることから、コロナ禍においても実施できるような支援メニューを検討・実施する。

### 3. 新しい生活様式に対応した商品開発・販路拡大を支援

コロナ禍においても巣ごもり需要などの少ないチャンスを獲得した事業者も存在することから、ターゲットの選定や商品開発・改良、新市場開拓などそれぞれに合ったきめ細かい経営サポートを行う。